

都道府県名	三重県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	一志郡一志町立一志中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4	2	14	37
生徒数	152	157	151	2	462	

研究の概要

1 研究主題

基礎・基本の着実な定着を図る学習指導の工夫

2 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

1年英語（少人数指導によって、スタートの時点で基礎基本からきめ細かく指導することで興味関心を高めるため。また「聞く・話す」に重点をおくため）

1年国語（少人数指導によって、発言回数や発表時間を増やし「話す」に重点をおくため。また「言語」についての指導をきめ細かに行うため）

2年数学（低学力の生徒が多く、少人数指導によってきめ細かに指導するため）

2, 3年社会（少人数指導によって発言回数を増やすため。また、小グループ学習をすることによって学習効果があがる内容が含まれており、きめ細かに指導するため。）

3年理科（T・T指導によって実験時に操作の効率化、安全確保をはかるため。また、巡回しながらきめ細かなアドバイスや、質問・疑問にきめ細かに応じて厚みのある指導をするため。）

全学級英語（ALTとの授業を行うことによってコミュニケーション能力を高めるため）

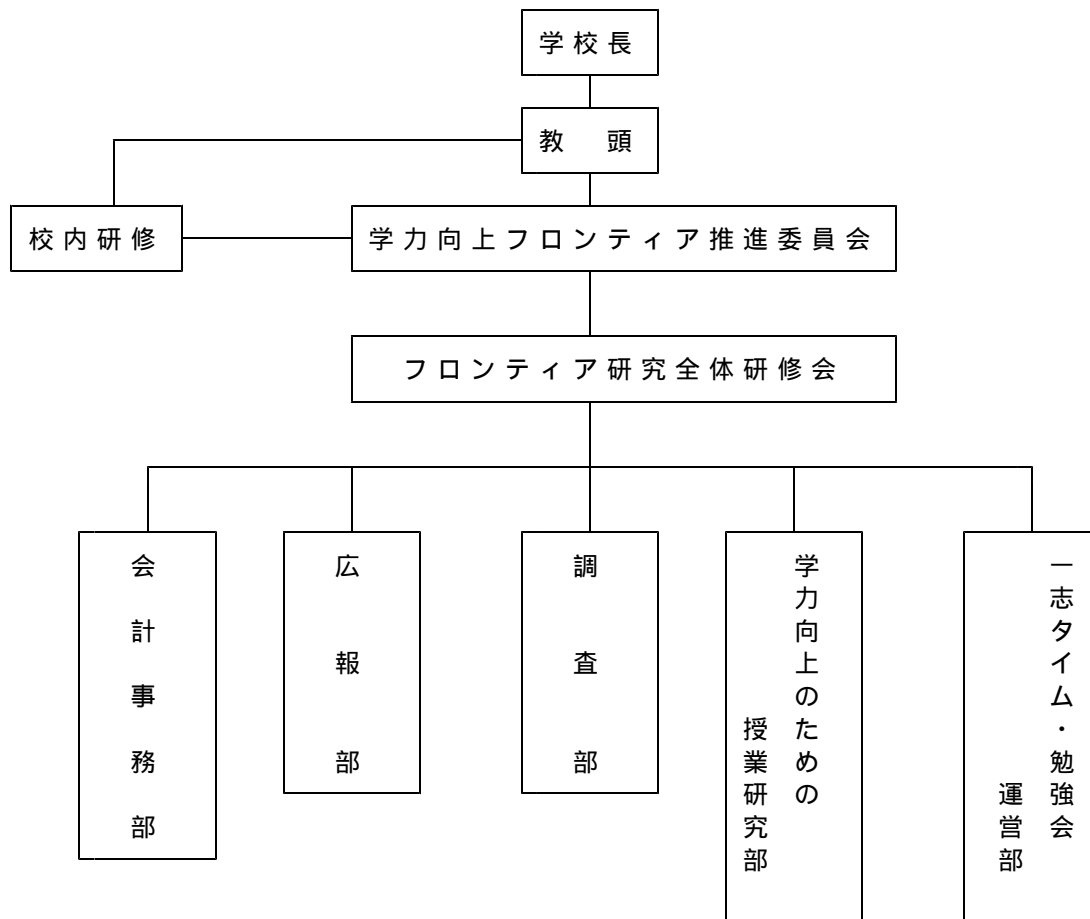
2年・3年の選択科目（効果的な指導、習熟度に応じた指導をするため）

(2) 年次ごとの計画

15 年 度	<p>テーマ 基礎・基本の着実な定着を図る学習指導の工夫</p> <p>研究の見通し（仮説） 生徒の基礎・基本の学力を把握し、実態に応じた指導の工夫、改善を図ることによって、生徒一人ひとりの確かな学力が定着するであろう。</p> <p>研究内容・方法</p> <p>(1) 指導体制の工夫</p> <p>1年英語・国語で少人数指導を行う。</p> <p>2年数学・社会で少人数指導を行う。数学は流動的学習グループでの指導を行う。</p> <p>3年社会で少人数指導を行う。</p> <p>3年理科でT・T指導を行う。</p> <p>全学級英語でALTとの授業を行う。</p> <p>～の指導を中心に効果的な指導方法やコース設定、クラス編制について研究する。</p> <p>(2) 2年・3年の選択科目で効果的な指導方法や習熟度に応じた教材の開発を行う。</p> <p>(3) 校内研修会での公開授業研究（少人数、T・T）</p> <p>(4) 講師要請訪問による研究内容・方法についての研修</p> <p>(5) 一志タイム、勉強会による補充学習についての指導工夫</p> <p>(6) 夜の中学生学習会による補充学習</p>
--------------	---

16 年 度	<p>テーマ 基礎・基本の着実な定着を図る学習指導の工夫 研究の見通し(仮説) 学習内容を考慮して、学習集団や学習形態を工夫することで学習効果があがる。生徒の実態に応じた指導の工夫、改善を図ることで、生徒一人ひとりの確かな学力が定着するであろう。</p> <p>(1) 指導体制の工夫 少人数指導を行う。 流動的学習グループでの指導を行う。 T・T指導を行う。 全学級英語でALTとの授業を行う。 ～の指導を中心に効果的な指導方法やコース設定、クラス編制について研究する。</p> <p>(2) 2年・3年の選択科目で効果的な指導方法や習熟度に応じた教材の開発を行う。</p> <p>(3) 校内研修会での公開授業研究(少人数、T・T)</p> <p>(4) 講師要請訪問による研究内容・方法についての研修</p> <p>(5) 地域の人材の活用</p> <p>(6) 一志タイム、勉強会による補充学習についての指導工夫</p> <p>(7) 夜の中学生学習会による補充学習</p>
--------------	---

(3) 研究推進体制



各部の研究内容と中心メンバーについて（H15年度）

	内 容	メ ン バ ー
学力向上フロンティア推進委員会	企画・立案・運営	学校長・教頭・山崎服部コ・坂本ナ 服部ト・川原田
一志タイム・勉強会運営部	一志タイム、長期休業中の勉強会、質問会などの企画・運営	服部コ・中井・辻田
学力向上のための授業研究部	・基礎・基本を定着させるための実践研究 ・中間報告およびまとめ、報告書のための資料まとめ	少人数、T・T担当 服部ト ----- 選択教科担当 坂本ナ
調査部	・学力実態調査、分析 ・生徒の意識調査、分析 ・研究段階での学力・意識調査、分析 ・保護者に対する実践調査、分析 ・中間報告およびまとめ、報告書のための資料まとめ	服部コ・坂本ノ・米川
広報部	・写真、ビデオなどの記録 ・中間報告およびまとめ、報告書のための資料まとめ	今村・中谷・中林
会計・事務部	・出納の記録 ・経費に関する報告書作成と県への報告 ・経費の証拠書類の整理と保存	教頭・柘植（三浦）

平成15年度の研究の成果および今後の課題

1 研究の成果

- (ア) よりいっそうきめ細かく指導できるようになった。
- (イ) 音読により確実に隅々まで教科書を読むことになり、授業に参加する場となった。
- (ウ) ワーク・ノートを活用する機会が増えた。
- (エ) わからないところ、疑問点を質問しやすくなった。
- (オ) グループ学習で、仲間と教え合いができ、学習が進んで、教えあうことで理解が深まった。
- (カ) 宿題の確認が少人数では時間内にきめ細かくでき、間違いなどもその場で一人ひとりに直接指導できて効果的である。
- (キ) 自学・グループ学習を通して、教師による個別の支援がより充実できた。
- (ク) 生徒の発表・会話の機会が増えた。
- (ケ) アンケートの結果から、およそ80パーセントの生徒・保護者が少人数学習について「良い」と答えている。とくに生徒からは落ち着いて取り組める、発表や質問がしやすいという声が出ている。

## 2 今後の課題

- (ア) 少人数学習の継続・拡張・・・教員確保と活動場所の検討。
- (イ) 習熟度別指導の実施・・・生徒・保護者への丁寧なガイダンスを行い理解を得ること。
- (ウ) 「学力」のとらえと学習指導の工夫・・・教職員全体が、相互に授業を見合って研究討議し、指導の工夫・改善を積み重ねること。
- (エ) 生徒の学力の把握・・・客観的にはかる方法。

### 学力把握のための学校としての取り組み

定期テスト(既習事項の確認、定着、年5回、全学年)  
学力調査の実施(実態把握のため、1回、第2学年)

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

実践発表会(日時未定)  
保護者への説明(P T A 総会)

- 
- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校
  - 【学校規模】 13～15学級
  - 【指導体制】 少人数、T・Tによる指導
  - 【研究教科】 国語、社会、数学、理科
  - 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有